

## エスペラント学力検定試験実施要領（3級／4級）

（外部委嘱実施の場合）

### 1. 事前準備

- (1) 主催者は試験実施予定日の1か月より以前に、日程、受験希望者名と受験級を研究教育部へメール、電話、ファックス等で申し込み、研究教育部と協議して実施を決定する。
- (2) 学力検定試験実施の公示を実施予定日の1か月前までに行う。公示は原則として JEI の会誌、行事案内チラシ、ウェブサイト等にて行うものとする。ただし、地方会等が主催する場合は、上記に代えて、その公示範囲を一地方または一定地域、もしくは特定の範囲に限定して、有効な手段により公示することができる。
- (3) 受験料（3級 2,000 円、4級 1,000 円）は、受験者本人が試験実施予定日の一週間前までに JEI に振り込む。受験者全員分を主催者がまとめて振り込むことも可能である。なお一旦受領した受験料は返還しない。
- (4) 会場の手配をする。主催するエスペラント会の例会を利用しての試験実施も可能。筆記試験用の部屋と、会話試験用の小部屋を用意する。一部屋しか用意できない場合は、筆記試験が終了後、同じ部屋で会話試験を行う。その際、当該受験者以外は部屋の外で待ってもらおう。
- (5) 試験官として1名が必要だが、できれば試験当日の助手をさらに1名手配する。試験官が会話試験をしている間、筆記試験の会場の監督や、会話試験がスムーズにいくように監督する役目をお願いする。
- (6) 会話試験を録音する IC レコーダ等の機器類を準備する。
- (7) 試験問題と受験票が到着しているかどうか確認する。試験日の2日前までには到着するように JEI から発送するが、万一未着の場合は、電子データで問題の提供を受け、コピーする。なお、試験終了後は、電子データを消去すること。

### 2. 試験当日

- (1) 受験者に受験票に必要事項を記入してもらう。
- (2) 遅刻入場は15分まで認めるが、終了時刻は他の人と同じとする。
- (3) 試験開始15分を過ぎたら、筆記試験を終えた受験者は退場することができ、会話試験にうつる。ただし、筆記/会話の時間帯を分けている場合は適宜指示をする。
- (4) 筆記試験の制限時間は、3級、4級とも60分。会話試験は一人当たり3～5分。
- (5) 会話試験の開始から終了まで IC レコーダに録音・保存する。録音をもとに合否を判断するため、受験者の受験番号の確認を忘れずに行うこと。

### 3. 試験終了後

- (1) 各人の筆記試験解答用紙と受験票を JEI に郵送する。  
会話試験問題用紙（試験官用と受験者用）もあわせて JEI に郵送する。
- (2) 会話試験の録音データを、研究教育部長へ電子メールに添付して送付する。  
メール添付ができない場合は、別途方法を相談する。
- (3) 合否通知は、試験後約1か月で受験者本人に送付する予定。合格証はその後送付し、合格者名は La Revuo Orienta 誌上で発表する。

（2016年9月28日作成）